

コルザはフランス語で「菜の花」。千葉県の花に由来しています。生活クラブ虹の街の機関紙の名称です

生活クラブ虹の街は生活クラブ千葉の通称です



1



2



3

庄内交流会：①7月の庄内。左手奥に鳥海山。阿部さんの圃場で ②庄内・遊佐太陽光発電所 ③平田牧場本社京田ミートセンター。豚の半身からとれる部位別重量
詳しくは2～3ページ



お友だち紹介キャンペーン

「生活クラブのある暮らし」を
お友だちに紹介してください。

紹介者のあなたにもお友だちにも
ステキなプレゼント！



目次 2 活動ファイル：庄内交流会

4 特集：社会的養護の子ども支援

6 千葉グループからのお知らせ：風の村 街ねっと NPO クラブ

7 活動ファイル：米消費地交流会 こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント

8 エッコロ福祉助成 2026 団体募集 10月のデポー

理事会だより（8月議事抜粋）

組合員の皆さんに8月理事会の報告をします。

8月理事会は実出席とオンライン出席の併用で開催しました。

① 生協・NPO・市民団体などが参加するせっけん運動ネットワークは、「せっけんを入口に環境を考える」としてせっけん運動をすすめています。毎年各地で受け入れ団体を決めて主催す

るシャボン玉フォーラム、2025年度は10月17～18日に大分で開催されます。虹の街からは環境委員の理事1名が参加します。

② 千葉県漁業協同組合連合会との交流を通じて「水産現場の話を聞き、食卓と産地が繋がっていることを理解する」という目的で、千葉県漁連の協力のもと消費委員会が、11月1日に南房総市で海の学校を開催します。

7月の組織報告 総供給高 814,421,138円
総組合員数 43,958人（班 4,125人 個別 21,657人 デポー 11,757人 その他 6,419人）

第52回 庄内交流会

7月20日～23日、「庄内交流会」が生活クラブ事業連合生活協同組合連合会により開催されました。全国の生活クラブから組合員など68人が参加。虹の街からは、組合員（コーディネーター）と職員、計6人が参加しました。

庄内交流会とは

第1回は1974年。提携

生産者・遊佐町農協の米と72年からウインナーの取り組みが始まっていた（株）太陽食品（現（株）平牧工房）の工場見学・生産者との懇親会を実施。以降、毎年多くの組合員が庄内を訪れ、生産者と思

いや課題を共有し信頼に基づき提携関係を深める、生活クラブグループにとって年間最大の産地見学交流会です。

今年は、米・豚肉に重点を置き、事前宿題を元にして、それぞれの消費材の抱える課題の理解をより深めたうえで、今後の政策にかかわる方向性を生産者と率直に話し合う場が設けられました。



入りが徹底管理されています。

農場から出荷・精肉され、ガス充填・脱気包装パックで、品質が保たれ、組合員の元に一度も冷凍することなく、冷蔵のまま最短4日で届きます。

豚1頭の半分（半身）から取れる肉は、おおよそカタ3kg、肩ロース2kg、バラ3.3kg、ロース3.7kg、ヒレ0.5kg、モモ5kg、ひき肉6.3kg。偏った注文は余る部位が出てしまうので、どの部位もバランスよく食べることが大切です。

提携した1976年頃、生活クラブは月に10数頭ほどのスーパードは月に千頭ほどの取り引きでしたが「日々拡大

していくのが目に見えてわかり、生活クラブに魅力を感じ、儲からなくてもいい、生活クラブにかけてみよう」と当時思ってくれたおかげで、今があるのだと思いました。

豚肉の利用が低下し、生活クラブ千葉でも約半分の組合員が豚肉を食べていない現状です。食べる口を増やす活動を組合員に伝え、拡大担当として、「新たに食べていく口を増やせるよう、キャラバン・イベントなどで必ず利用・拡大に繋げていきたい」と強く思いました。

佐倉・組織拡大マネージャー 山田翔太

（株）平牧工房

平田牧場の豚肉を100%使用して、無添加のハム・ウインナー・ベーコンを製造しています。理念は「必要なのは使用しない」。食品添加物はいらないうという声に

加えて、味つけには生活クラブの調味料・香辛料・昆布やカツオ・ホタテのだしも使い奥



深い味わいに仕上げています。加工肉ができるまでの一連の工程を見学。燻製が終わったばかりのポークウインナーを試食しておいしさを改めて実感しました。

意見交換会では、利用をあげていくために話し合い、組合員から、「2000円くらいの生産者おまかせ加工肉セットが欲しい」というリクエストに、「実現できるように検討したい」と生産者。

今回、製造現場を直接確認し、生産者の工夫や苦勞・歴史や思いが聞け、また他単協の組合員の活動を共有できました。日々の配達業務のなかで、一人でも多くの組合員に

今回学んだことを伝えて利用に繋げていきたいと思っています。柏・共同購入担当 赤井竜生

（株）ZORR コーポレーション

ウインナーの皮（ケーシング）まで、生活クラブはこだわっています。その「羊腸」の輸入・加工を担うのが、山形県酒田市にあるZORRコーポレーションです。

羊腸を100%輸入に頼っている日本では、ニュージーランド・オーストラリア・中国などから塩漬けの状態で輸入。同社では、水だけで2日かけて塩抜きし、腸をほどこいてサイズを整え、一本一本丁寧に検品まで手作業で行います。リン酸塩などを使えば滑りが良くなり作業効率は上がりま

（株）平田牧場
豚はできるだけ自然に近い環境で、運動したり、ふかふかの敷床で寝たり自由に過ごして、ストレスのかからないようゆっくり大切に育てられ、豚舎は限られた人のもと立ち

（株）平田牧場
豚はできるだけ自然に近い環境で、運動したり、ふかふかの敷床で寝たり自由に過ごして、ストレスのかからないようゆっくり大切に育てられ、豚舎は限られた人のもと立ち

（株）平田牧場
豚はできるだけ自然に近い環境で、運動したり、ふかふかの敷床で寝たり自由に過ごして、ストレスのかからないようゆっくり大切に育てられ、豚舎は限られた人のもと立ち

（株）平田牧場
豚はできるだけ自然に近い環境で、運動したり、ふかふかの敷床で寝たり自由に過ごして、ストレスのかからないようゆっくり大切に育てられ、豚舎は限られた人のもと立ち



すが、使用せず、時間をかけて加工しています。

羊腸は本来、表示義務のない部分ですが、生活クラブでは「口に入る食品」として原材料の一部と考え、「羊腸ケーシング」と明記。平牧工房のパリッとした天然腸詰めウインナーの食感、こうした丁寧な手仕事から生まれます。

「ようやくらぶ」登録をし食べる約束をして、皮まで安心なウインナーを今後も食べ続けていきたいと思っています。

佐倉・エリアコーディネーター

圓井 恵

庄内遊<O>米

昨年の豪雨被害を乗り越え、庄内平野には青々とした稲穂が広がっていました。

JA庄内みどり遊佐町共同開発米部会・会長の今野修さん（杉沢地区）は、「昨年は、復興作業で生活クラブから多くのボランティアに入ってもらい刈り取りまでできた圃場。稲刈りができて終わりじやなく今年田植えができての恩返し、と田植えまでは車が走れないところに重機を入れて、少しでも作業トラックが通れる状態にするまで1週間、農



作業しながら夜の0時頃まで作業していた日々もありました。工事が必要で復旧できなかった生産者には、圃場を貸し出し、内部で面積融通・協力しながらお米を作っています。「一人だけ生き残るんじゃなく、みんなで生き残って盛り上がってやっています」という力強い言葉が印象的でした。来年に向けては、川から入った土砂を削って出す作業も必要。「実は2・3年後が大変」と聞き、私たちにできることは予約した量はしっかりと食えることだと改めて感じました。

同・副会長の阿部健五さんの圃場では、新マトリックス肥料の試験中。マイクロプラシックを使用しない堆肥・有機質肥料で、環境負荷を軽減。散布は1回で、暑い時期

の追肥作業が省略でき負担軽減。他にも草取りや病害虫対策を行い、少しでも良いお米を届けようという生産者の思いが深く伝わりました。

JA庄内みどり遊佐支店での開発米部会生産者との意見交換会で、共同開発米の「価値」について討議（写真）。生産者と共に活動すること、生産者を生み出し、産地をつくる力となります！先輩方が築いてくれた関係を次世代にしっかりと繋いでいきましょう。松戸・エリアコーディネーター

吉田香織

鈴木食品製造（株）

果実を使ったゼリーやジュースの生産者で、会社のある寒河江市やその周辺地域は果樹栽培が盛んです。産地の近くに加工場を置き、本来の流通期間が短い新鮮な果実を使い加工することで一年を通しての流通が可能です。形の



良い果実は缶詰等に加工し、傷があるものや大きさが揃わないものはピュレやジュースにします。契約農家と共に、加工に適した品種の開発にも力を入れています。加工の際に出る残渣は家畜飼料や堆肥等に活用し、地域内で循環させる取り組みも行っています。消費材のあらごし食感国産

りんごゼリー・白桃ゼリーは、原料を無駄にせず、幅広い年代が安心して食べられるように、すりつぶした果実を使っています。圧力をかけて70℃以下で煮詰めるため、素材本来の風味が生きています。コーミのトマトケチャップの原料ピューレの一部も生産しています。

ベイ・エリアコーディネーター

木村伸子

庄内・遊佐太陽光発電所

旧砕石場の広大な跡地に立ち並ぶ6万7000枚の太陽光パネルと背後の鳥海山が再エネと自然の共存を感じさせてくれます。生活クラブグループと提携生産者が共同で設立した（株）庄内自然エネルギー発電が建設。その資金は金融機関からの融資や生活



クラブグループからの貸付・庄内の住民や生活クラブ組合員の市民ファンドによるものです。売電益は地域づくりに使われ、「食・エネルギー・助け合い」に、循環する仕組みです。

年間発電量は約5700世帯分（1万8000MWh）、CO₂削減効果は年間9200トンとなります。

電気も生活クラブの大切な消費材の1つです。食べものと同じように選ぶことで、地域を支える力になり持続可能なくらしに近づけます。「生活クラブのどんき」をもっと知り、私たちの手で未来を選んでいく。庄内の太陽の下でその実感がわき、再エネの現場に希望を見つけました。

ベイ・デポーコーディネーター

杉本亜希子

少子化が叫ばれているなか、子どもたちは社会において大切な存在です。

しかし、子どもへの虐待や経済的な理由などで、子どもを育てられなくなるケースが少なくありません。

保護者のいない子どもや被虐待児など、親と暮らせない・社会的養護が必要な子どもは、全国で約4万27千人と言われています。

これまでは原則18歳での自立が求められていましたが、22年6月の児童福祉法の改正で、年齢制限が撤廃され、施設などが自立可能と判断した時点で、継続が可能になりました。

はぐくみの杜を支える会 はばたき基金

特定非営利活動法人はぐくみの杜を支える会
理事長の久保貴子さんに話を聞きました。

自立に支えが必要な子どもたちの応援を！

「はばたき基金」に寄せられた寄付は、主に「自立支援費」と「ふるさと便」に使います。対象は、生活クラブ風の村「はぐくみの杜君津・かしわ（26年度予定）」「人力舎君津」から自立する若者です。

自立に必要な資金をサポートする「自立支援費」

児童養護施設等に暮らす子どもたちは、高校に入学するとアルバイトを始めますが、過度なアルバイトは学業や友だちとの大切な時間、部活という学生時代にしかできない大切な経験を奪ってしまします。自立に向けた資金をサポートすることで、少しでもそういう時間を大事にしてほしいと思います。

食料品や日用品を届ける「ふるさと便」

年に3回、「ふるさと便」を届けています。はぐくみの

杜を巣立った若者には、スタッフが希望を聞いて用意します。ふるさと便は、食料と日用品を届けることに留まらず、スタッフと連絡を取り合うきっかけにもなっています。

自立後3年をめどにしていますが、最近は3年を過ぎても送ることが増えており、若者たちの生活の苦しさを実感しています。

皆さまも一緒に！

昨年度は、のべ279人の方から352万5,347円の寄付が集まりました。ご協力いただいた皆さま、興味を持ってくださった皆さまに心よりお礼を申し上げます。これから、若者たちを直接サポートするスタッフたちとの顔の見える関係のなかで、自立後の若者を後方からサポートしていきたいと考えます。どうぞよろしく願います。



はばたき基金 カンパ募集

安定した暮らしが子どもの未来をつくれます。夢や希望を描くスタートラインに立つことを支援する基金です。

宛先：特定非営利活動法人
はぐくみの杜を支える会

ゆうちょ銀行の窓口または ATM から
郵便振替口座 00150-7-264978

他銀行から

店名：〇一九 店番：019
預金種目：当座預金
口座番号：0264978

クレジット決済

詳しくはこちらから →



自立支援費のメニュー

支援メニュー	資格取得	資格取得のための資金援助（退所後5年）
	一人暮らし	一人暮らしを始める時の支援
	進学	進学資金・在学中の生活支援費・新入生加算*1・専門学校生加算*2
	緊急	失業や留年、その他の理由で生活に困窮した時の支援
	出産祝い金 *3	出産時のお祝い金（1人1回）
	再就職祝い金 *4	再就職のお祝い金（1人1回）

*1～*4は、昨年8月より新たにメニューに加わり、再チャレンジ支援は緊急支援に変更されました。

はぐくみの杜を支える会

〒2991104
千葉県君津市糠田 64 番地
tel & fax : 043-932-2270
開所時間 10:00～16:00
(土日祝除く)

会員募集中

月 200 円
毎月の利用請求と一緒に引き落としができます。



一見施設にいられた期間が長くなったように思われそうですが、進学や就職で退所することになれば、その後の孤立化を防ぐなどの継続した支援は、これから彼らが人生を歩んでいく上で重要なことになり、わりありません。

虹の街は、社会的養護下に暮らす子どもたちの自立の支援を2つの団体を通じて行っています。はぐくみの杜を支える会の「はばたき基金」と、ちばこどもおうえんだん、ちばこどもおうえんだんの「こども・若者未来基金」の趣旨に賛同し、カンパを呼びかけます。

認定特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん理事長の湯浅美和子さんに話を聞きました。

こども・若者未来基金は、社会的養護下で暮らした若者の巣立ちを、給付という形で経済的に支援しています。24年度は16人の若者と3カ所の自立援助ホームを応援することができました（給付総額721万円）。

基金の原資は、趣旨に賛同する県内3生協（生活クラブ千葉・パルシステム千葉・なのはな生協）の組合員の皆さまからの寄付が多くを占めています。24年度寄付総額は730万5,442円、内3生協から527万8,839円でした。ご協力に感謝いたします。

社会的養護の子どもたちを知っていただきたいと、11月8日にはサヘル・ローズ監督が児童養護施設で暮らした若者たちと共に作り上げた『花束』の上映会を実施します。ご来場いただけますと嬉しいです。

給付して終わり、ではなく7月と12月には「食料・衛生用品等支援物資」を送付、8月には若者・伴走者との交流会を行い、その後の若者たちのようすを確認します。後ろ盾のない彼らの自立を伴走者と共に応援していきます。

ちばこどもおうえんだん こども・若者未来基金



2025 年度基金交流会。左 2 人目が湯浅さん

社会的養護の子どもたちのくらしと自立を考える

第2回 映画『花束』上映会（監画 サヘル・ローズ）

日時 2025年11月8日(土) 14:00～18:30 (開演 13:30)

場所 千葉商工会議所第1ホール（千葉市文化センター 14 階）

定員 120名 参加費 1000円

小学生以下無料 中高校生及びこどもおうえんだん会員は割引/800円

※お申し込みが必要です。定員に達した時点で締切となります。キャンセルされる場合は、速やかにご連絡下さい。※参加費の一部は基金への寄付となります。

申込みはこちらから↓

こども・若者未来基金カンパ募集

ちらしによるカンパ募集 第2回目は10/27～配布。
デポでも行っています。

WEBでのカンパの申込みはこちらから→



食料・衛生用品等支援物資の募集！

これまで給付をした若者に、7・12月に食料や衛生用品などの支援物資を送っています。（7月、44人に送付）

レトルト食品・お米・缶詰・お菓子・飲料など（賞味期限内のもの）

ご協力いただける方は、ちばこどもおうえんだんの事務所に届けるか郵送してください。

募集期間：
12月2～9日

ちばこどもおうえんだん

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1107-7
tel & fax : 043-205-4046 (10:00～16:00)



お金でおうえん

くらしスタート	1人暮らしを始めるにあたり必要な資金の援助（住宅資金や家財購入など）
くらしサポート	進学した子どもの月々の生活費の援助
資格サポート	資格取得に必要な資金の援助
まなびサポート	進学の際の入学金や授業料等の援助
入学金つなぎサポート	他の奨学金が支払われるまでの入学金の仮払い
伴走者支援	子どもたちに寄り添う伴走者の経費補助

緊急サポート SOS 通常のメニューとは別枠で、できるだけ早いスピードで対応するもの

寄り添い型支援 伴走者が若者のために自由に使える費用の補助

お金以外でおうえん

就職支援	就職体験や就職の紹介など
居住支援	低価格・保証人不要住宅の紹介



生活クラブ風の村

事業本部：佐倉市山崎 529-1



tel: 043-312-0833 fax: 043-312-0208
https://kazenomura.jp/
e-mail: info@kazenomura.jp

小さな挑戦が、大きな力に ～佐倉東が育む“くじけない心”～



子どもと一緒に、おいしい昼食



保育カンファレンスで意見交換

現代は、情報の多さや社会の変化、予測できない出来事が増え、「正解」が見えにくい時代と言われています。そんななかで、子どもたちが豊かな人生を歩むためには、困難や失敗を乗り越える力「レジリエンス（くじけない心）」が必要です。子ども家庭庁や関

連する教育研究機関では、こどものレジリエンスを育むことの重要性を強く訴えておりレジリエンスは「生きる力」として位置づけられ、保育園佐倉東では、乳幼児期からこの力を育むことを大切にしています。

子どもたちが安心して挑戦し、失敗してもまた立ち上がる力を育てるため、職員全員が心がけていることを5つの柱にまとめました。

1. 気持ちに寄り添う保育

「やりたい」「やりたくない」という気

持ちを尊重し、自己肯定感を育てます。

2. じっくり話を聞く

こどもの言葉や表情を丁寧に受け止め、安心感と信頼関係を築きます。

3. 観察と連携の強化

日々の変化を職員間で共有し、一人ひとりに合った支援を行います。

4. 挑戦できる環境の提供

失敗しても大丈夫と思える場で、前向きに取り組む力を育てます。

5. 成長を受け止める姿勢

小さな進歩を見逃さず、共に喜び合うことで自信につなげます。

私たちは、子どもたちの可能性を信じ、希望を持って日々の保育に取り組んでいます。くじけない心は、支え合いのなかで育まれるもの。これからも、園の自然とふれあう時間を大切に、職員は学び続ける姿勢と強いチームワークで、子どもたちの挑戦を温かく支え続けます。

生活クラブ風の村保育園佐倉東 施設長 井口祥恵

*「子ども」を風の村の表記に従い「こども」としています。

NPO クラブ

住所：千葉市美浜区真砂 5-21-12



tel: 043-303-1688 fax: 043-303-1689
https://npoclub.com
e-mail: npoclub3@gmail.com

コミュニティケア街ねっと 事業本部：千葉市稲毛区園生町 1107-7



tel: 043-290-8015 fax: 043-290-8016
https://www.ccmachinet.com/
e-mail: info@ccmachinet.jp

募集

家計改善支援員

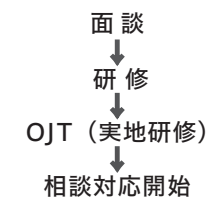
お金の困りごとを抱えている方の相談に応じ、家計の立て直しをお手伝いする仕事です。



家計状況を「見える化」して課題を把握し、解決方法を一緒に考え、相談者が自ら家計を管理できるように支援計画の作成や、関係機関へのつなぎなどを行います。

- ★活動地域は 千葉市・柏市内全域
- ★週に数日稼働できる方
- ★パソコンが使える方
- ★千葉市・柏市及びその近隣にお住まいの方歓迎
- ★人と関わることが好きで穏やかな方歓迎

<活動までの流れ>



※資格要件ほか詳細についてはお問い合わせください

問合せ：043-290-8062（平川）



「縁 joy 交流会」2025—福島県県外避難者への相談・交流支援事業

10月13日（月）～15日（水）初日は11：00～

会場 千葉市生涯学習センター 1Fアトリウムガーデン

・パネル展示（福島民報社、県内支援団体の活動紹介）

・紙芝居「請戸小学校物語」 浪江つたえ隊



千葉県市民活動団体マネジメント講座 受講無料

(1) NPO 法人の労務①②（連続講座）

10月16・23日（木）Zoom 開催

(2) 団体の未来をつくる事業戦略づくり

～人材育成と担い手確保のために～

10月18日（土）会場 新鎌ヶ谷 F タワー

(3) NPO 法人の日常会計処理 / 事業報告書作成

11月11・25日（火）会場 船橋市勤労市民センター

* (2) (3) は、会場と Zoom 併用開催



ちばユニバーサル農業フェスタ 2025in 四街道

11月15日（土）10：00～14：00

会場 四街道市文化センター



米消費地交流会報告

7月9日デポーおおたかの森、10日松戸センターにて、遊佐町共同開発米部会・会長の今野修さん(写真左)、JA庄内みどり 遊佐営農課・課長の遠田直樹さん(同、右)を迎え、米消費地交流会を開催しました。両日で92人の組合員が参加し、「今のお米の現状を知りたい」と熱心に耳を傾けました。



一方で、生産現場は気候変動や資材高騰など厳しい環境にさらされ、米づくりを安定的に続けるためには、これからも生産者と組合員が理解し合い、支え合う関係が欠かせないことも共有しました。

参加者の声

「生活クラブのために米をつくっているという言葉が印象的だった」「バイヤーから高額な価格を提示されても、生活クラブに全量を出荷したと聞いて涙が出そうになった」など感想が寄せられました。

予約して食べること

米不足による欠品が生じていますが(7月時点)、市場に十分出回れば、また予約や利用が減ってしまうことが予想されます。お米を予約することは「応援」であり「約束」です。それは生産者が安心して作付や新しい農法への挑戦・後継者の育成に取り組む力となり、私たちが安心して食べ続けられる未来へ繋がります。

提携生産者のお米を「知り、選び、食べ続けること」。それが私たちのお米を守ることに繋がります。

NO RICE, NO LIFE !

消費委員 海野しのぶ



写真上：デポーおおたかの森2F・地域交流スペース「こだち」 下：松戸センター3Fホール

共同開発米

共同開発米は、サステナブル(持続可能)な食料自給を実現するための基礎的食料として生活クラブと連合生産地が共に作りつづけてきたお米です。安全・安心で、産地の環境を守る、「消費者」と「生産者」が一緒につくりあげたお米です。対象は、庄内遊 YOU 米・那須山麓米・上伊那アルプス米・みちのく加美米(ささゆた香・まなむすめ)。

ロゴマークはこれからも共に作り続けていくという想いをこめて、手を力強くつないだ形を表現しています。

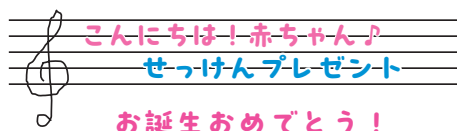
産地から組合員に
お米が届くまで！



共同開発米
の9カ月

3月 種もみの準備 4月 苗を育てる 5月 田植え 6～8月 稲を育てる／生産者交流会 9～10月 稲刈り／乾燥・出荷 組合員のもとへ！

こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント・プレママ応援セット



お誕生おめでとう！

せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

木村 朱莉 (あかり) ちゃん	2024.09
多賀 楽 (らく) ちゃん	2024.12
相田 美蘭 (みら) ちゃん	2024.12
山下 四葉 (よつば) ちゃん	2025.05
上原 直葵 (なおき) ちゃん	2025.07



2025年度のプレゼントは、
・固型せっけん1個
・台所用液体せっけん
おれんじミニ 200ml
・絵本『せっけん生活 はじめませんか?』などです。

1歳の誕生日の前日までに申請してください。
WEBでの申請はこちらから→
申請書は奇数月に掲載予定です。



もうすぐママになるあなたへ

エコロ制度から「プレママ応援セット」プレゼント

NEW



←対象は母子手帳交付～出産前までの組合員本人。申請はこちらから

エコロ福祉助成 2026 年度助成事業 団体募集！

生活クラブ虹の街には、組合員からの毎月100 円の掛金で運営するたすけあいのしくみ「エコロ制度」があります。
「エコロ福祉助成」は、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりをめざし創設した「エコロ福祉基金」の一部で、原資は掛金から積み立てています。

助成を通じ、生協の事業や運動だけでは解決できない課題に取り組む団体の皆さんの活動を応援し、共に持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。この機会にエコロ福祉助成を通じて、福祉の自給圏づくりにご参加ください。

助成総額 200 万円 上限 30 万円 /1 団体

受付期間 9月15日(月)～10月20日(月) 必着

助成対象 高齢者・障がい者・生活困窮者・子ども・子どもの親（保護者）・若者が暮らしやすい社会になるための事業またはその事業に必要な調査・研究

事業期間 2026 年4月1日～2027 年3月31日

受付窓口・問合せ 生活クラブ虹の街 福祉・たすけあい事業部

tel：043-278-7768 fax：043-279-7490



10:00 オープン!



お休み

10月 全日曜日
11月 2.9.23.30
* 11/16 オープン

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

「子どもたちの未来をつくるスーパー デポー」秋のキャンペーン開催中

お友だちを紹介してください!

- ・お友だちがデポーに来てくれたらあなたにお買い物券(500 円)プレゼント。
- ・お友だちが加入したら、あなたにもう1 枚お買い物券プレゼント。お友だちへの加入プレゼントも充実!
- ・初めてデポーに来てくれた方に豚肉の無料サンプルプレゼント。

ここだけのお肉フェア 週替わりで牛肉・豚加工肉

10/13～18 開拓牛・ほうきね牛(量り売り除く)
10/27～11/1 豚加工肉 4 品目



10% off

今月のトピックス

秋のデポーまつり 10/17・18

両日 ポイント3倍

10/17 まぐろ(新松戸除く)

10/18 スペシャル鮮魚市

生産者来所 おすすめ消費材(当日限定)・ほうきね牛入荷



5% off

生まぐろ入荷

10/12 園生 10/18 新松戸
10/25 浦安 10/31 みつわ台 11/1 真砂

10月のデポー



黒豚入荷 10/ 9

金華豚入荷 10/23

ヴィボンウィーク 9/29～10/4

オリーブオイル紹介。バルサミコ入荷

せっけんの街の日 10/6 せっけんの街の品目

*大津ヶ丘・園生は 10/7

美勢商事ウィーク 10/6～11 肉焼売

牛乳キャンペーン 10/6～18 週替わりでチーズが

10/6～11: そのままでもおいしい国産シュレッドチーズ

10/13～18: 那須でつくったさけるチーズ

JBP 化粧品ウィーク 10/13～18

「ルリーフェ」「ビマシェ」紹介。おすすめ品が

開拓牛希少部位入荷 10/16 昨年大好評。焼肉に

健康茶ウィーク 10/20～25 黒姫山草茶

ハロウィンウィーク 10/20～31

おすすめのお菓子紹介

冷凍食品お買い得の日 10/22 冷凍品2P 以上の利用で

甘栗ウィーク 10/27～11/1

天津甘栗など藤原食品の消費材を紹介。

イベント・入荷案内



デポー情報 ↑

デポー園生 10/11 リニューアルオープン!

10/10 までお休み。10/11～13 オープンまつり!



冬のギフト受付開始!

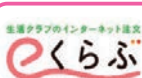
デポー組合員の申込み切: 早期ギフト 10/21
組合員受け取り品 10/28 全国宅配 11/1



Facebook



Instagram



スマホで簡単に注文
できます! 注文用紙
提出翌日の AM11:30
まで注文ができます。

ポイントを貯めてクーポン券をゲット!

デポーカードの利用 200 円ごとに 1 ポイント

500 ポイントで 500 円のクーポン券発行。デポーカード(どなたでもつくれます)をお持ちの班・個別配送の方も対象です。

